

芙蓉総合リース株式会社
(コード番号: 8424 東証プライム)
代表取締役社長 織田 寛明

資本業務提携先 H.I.F. 株式会社が新設する債権流動化ファンドと 金銭消費貸借契約を締結

芙蓉総合リース株式会社(東京都千代田区、代表取締役社長 織田寛明、以下「芙蓉リース」)は、H.I.F.株式会社(東京都新宿区、代表取締役 東小菌光輝、以下「HIF」)が展開するファンドシリーズである「HIF KESSAI GIVING FUND」(以下「5号ファンド」)を運営する HIF FUND5 号合同会社に対し、ファンドから生じるキャッシュフローを主たる返済原資とした金銭消費貸借契約(以下「本契約」)を締結致しました。

HIFは、AI 与信審査技術の開発と提供及び同技術を用いた Fintech サービスの提供を行うスタートアップ企業であり、芙蓉リースとは 2022 年 12 月に資本業務協定を締結しております。今回組成される 5 号ファンドは売掛債権等の債権流動化を目的としており、HIF の AI 与信審査サービスを活用した与信判断のもと、債権引受を実施しております。

本契約による資金提供により、HIF との連携をより深めると共に、HIF が有する新しいアプローチの与信審査技術や債権保証ビジネスのノウハウと芙蓉リースグループの事業基盤を掛け合わせ、多様なファイナンスニーズに応える付加価値の高いソリューションを提供してまいります。

【HIF KESSAI GIVING FUND の概要】

ファンドの形式	匿名組合型ファンド (金商法第 63 条に基づく適格機関投資家等特例ファンド)
規模	5 億円 (最大 10 億円)
運用期間	1 年
投資対象	国内スタートアップ企業・中小企業が保有する 売掛債権・リース債権・中古車販売債権 等

※本ファンドの募集・運用は、HIF FUND5 号合同会社が行っており、HIF は本ファンドの募集・運用は行っておりません。

芙蓉リースグループは、2022年度からスタートした中期経営計画「Fuyo Shared Value 2026」において、CSV（Creating Shared Value：共有価値の創造）の実践を通じた社会課題の解決と経済価値の同時実現により、企業グループとしての持続的な成長を目指しております。

今後も研究開発型ベンチャーをはじめとするスタートアップ企業への出資および事業共創を通じ、新領域分野に対する知見を深めることで、持続可能な社会づくりへ貢献してまいります。

以上

お問い合わせ先

芙蓉総合リース株式会社 コーポレートコミュニケーション室（担当）山崎・渡邊
電話番号 03（5275）8891 URL：<https://www.fgl.co.jp/>